



8.6 平和劇 2011



練習はこが先生指導のレクレーションから始まりました。「おはよう…」のかけ声でいろんな動きをしました。そして、紙芝居「麦の穂との約束」、最後に 10.20 非核都市宣言糸島集会の練習をしました。

10月20日の集会では、少ない練習でしたが、みんな堂々としていました。

保護者のPR活動始まる

8.6 平和劇について、より多くの人に知ってもらいたいという思いで、10月23日前原商店街の軽トラ市で、平和劇のコーナーを設けて、PR活動が行われました。

また、来年度の劇にむけて、役割分担を決めるなど、やる気満々、着々と動きが始まっています。

平和劇は続く ④12月10日(土) 可也公民館 10:00~12:00

⑤1月21日(土) ⑥2月18日(土) ⑦3月10日(土)





林 憲治さんを囲んで



サンセット、カレント、空(くう)のオーナー
サンセットライブの仕掛け人
& プロデューサー

◇林さんは

海とサーフィンが、大好きだそうです。子どもの頃、父親の転勤で、いろんなところに住んでいたそうです。福岡の糸島の自然が好きで、海の近くにお店を建てられ、海の好きな人たちが集まり、お店のスタッフと学校みたいに学びながら働いていたそうです。夏、お店の近くは、ゴミだらけになるそうで、海岸清掃を続けてきたそうです。

◇今年で19年目を迎えるサンセットライブの始まりは…

大きな音を出しても、迷惑をかけない場所なので、楽しいイベントをして海がきれいになるような取り組みをしたいとサンセットライブを始めたそうです。サンセットライブを始めた年は冷夏で天気が悪かったそうですが、ライブの日は晴れて夕陽がとてもきれいだったそうです。300人の予定が600人も人が集まったそうです。5年から6年たつと仲間も増えて、いろいろかせいしてくれたそうです。福岡には博多山笠があり、かせいするという土壤があると話してありました。

◇芥屋に会場を移して

エコやリサイクルを大切に、NPOの団体からリユース食器を借りて、学生ボランティアが食器を洗い、ボランティアサークルが11分別を行い、ゴミを85%減らしたそうです。学生ボランティアは中村、西南、九大、筑女などから来てくれるそうです。

◇サンセットライブのテーマは

「大いなる自然と恵みに感謝」「LOVE AND UNITY」(愛と調和・愛とつながり)だそうです。もともとサーフィンは、波にのること自体、自然のエネルギーにのり、バランスをとることなので、自然のパワーで元気がもらえるし、元気になる。海や波はパワースポットでもあるのです。また、海に沈む夕陽はすばらしいです。

19年も続くサンセットライブは、同窓会のような存在であり、人と人との集まり、みんなのパワーが集まるお祭りでもあります。

◇今年のサンセットライブは、

14,500人の入場者があったそうです。アーティストだけでなく、学者である養老猛さんも来られ、森のステージではとても、静かな時が流れたそうです。ステージは5つあり、にぎやかな若い人たちのステージもあれば、少し年配の人たちに心地よい静かなステージも用意されているそうです。

林さんのお話をお聞きして来年は行ってみようと思いました。なお上記の文章は、メモを元に坂本が文章化しました。林さんの許可を頂き、HPにも掲載しています。<http://itoshima.cc/86heiva/>